

## あかつき搭載 1 $\mu$ m カメラ IR1 : 現状とこれまでの観測結果

### 1 micro-m camera IR1 onboard AKATSUKI: Current status and results of observations

大月 祥子<sup>1\*</sup>, 岩上 直幹<sup>2</sup>, 佐藤 毅彦<sup>1</sup>

OHTSUKI, Shoko<sup>1\*</sup>, IWAGAMI, Naomoto<sup>2</sup>, SATOH, Takehiko<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所, <sup>2</sup> 東京大学

<sup>1</sup>ISAS/JAXA, <sup>2</sup>University of Tokyo

2010年5月21日に打ち上げられた日本の金星探査機あかつきは、現在2015年の金星再会合を目指し航行を続けている。2010年12月の以降に行なった撮像を基に、1  $\mu$  m カメラ IR1 の現状とこれまで観測結果について報告する。

2011年に実施したIR1による撮像は以下の3種類である。

(1) およそ1300万 km の距離からの金星測光観測

(2) 恒星(いて座)撮像

(3) 近日点通過後カメラ動作確認

金星測光観測からは波長0.90  $\mu$  m における0°60度での位相曲線を導出した。あかつき搭載2  $\mu$  m カメラ IR2 で得られた2.02  $\mu$  m における位相曲線同時解析することで雲層モデルへの制約を得た。

また、恒星撮像・動作確認画像より現在の検出器の状態・問題点等について議論する。

キーワード: 金星探査機あかつき, 近赤外線, 金星大気, 位相曲線, 雲粒子

Keywords: AKATSUKI, near infrared, Venus atmosphere, phase curve, cloud particle